

【取組み内容】

◎ NPO法人しらさぎの設立

- ・ 1999年ボランティアがスタートし、2007年にNPO法人しらさぎを設立、24年間の歩み
- ・ ボランティアを通じて地域に奉仕する心を育て、自発的なSDGsのゴール実現への取組み

◎ ZEH-M Ready仕様の社員寮建設 ダイバーシティ経営へ前進

- ・ CN実現に寄与する社員寮は国内外からの求職者に対応し人材の確保と多様性に繋がっている
- ・ BCP対策として耐震等級3相当の本社建築(Nearly ZEB)・食料の備蓄・非常災害用発電の設置等

◎ 広く・深く伝える環境コミュニケーションの推進

- ・ ZEB仕様の本社ビル見学者を随時受け入れ、ZEBとともにSDGsの取組み事例もご紹介
- ・ 1年間の環境経営活動をまとめた「環境経営レポート」を年1回発行し社内外に公表している



植林活動



清掃活動

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	1999年からボランティア活動をスタートし、実施回数はこのべ69回、参加人数はこのべ7,656人を超える活動となっており、現在も継続中。
包摂性	実施前に歴史講話などで子どもから大人までの参加者が地元について理解と関わりを深め、奉仕の精神と自身の心の成長を促していく。
協働性	NPOのボランティアは社員と家族、知人、関連会社、お取引先、地元学生、留学生、県外在住者など幅広い方々にご賛同頂く活動となっている。
統合性	社員向けにZEH-M Ready仕様の社員寮建設でダイバーシティ経営へ前進。本業の根幹であるライフラインを守る使命のため災害時のBCP対策にも力を入れている。
透明性	年1回EA21の審査と月1回の推進委員の実施で環境活動の実施確認とSDGs教育や社内広報を行い、年1回「環境経営レポート」を発行し社外へ公表を行っている。

貢献するSDGsのゴール

